

## シラバス参照

講義名	生命科学リトリート I		
講義開講時期	後期 2nd Half		
基準単位数	1		
代表曜日		代表時限	
コース等	12 その他/複数コース開設		
授業を担当する教員			
成績評価区分 Grading Scale	P (合格) , F (不合格) の2段階評価 Two-grade evaluation		
レベル Level	Level 2		
力量 Competence	学際性 Broad perspective、国際力 Global competence		

## 担当教員

## 氏名

◎ 村田 和義

上田 貴志

工樂 樹洋

渡邊 崇之

## 授業の概要

生命科学リトリートは、生命科学研究という共通基盤を持ちながら専門分野が異なる複数のコース（遺伝学、基礎生物学、生理科学、統合進化科学、および関連分野）の学生・教員が学術交流を行う授業科目で、担当学生が主体となって企画・運営を進め、合宿形式をとることで密度の高い議論が達成できる場となっている。受講生は、5年一貫制博士課程1年次までに行った研究成果や将来計画について発表する。

## 到達目標

研究者として必要な次のような技能を実践を通して身につけさせることを目標とする。すなわち、生命科学を見渡せる広い視野や柔軟な思考力、英語を用いたプレゼンテーション力、主体的にプログラムを企画・運営する能力である。

## 成績評価方法

プログラムへの参加をもって合格と判定する。

## 授業計画

学生は事前に自らの研究に関するポスター作成／発表について所属研究室において指導を受けて準備し、リトリートのプログラム（研究発表および議論、招待演者による講演など）に参加する。

## 実施場所

開催案内とともに通知する。参加申し込み〆切10月13日。

## 使用言語

英語

## 教科書・参考図書

特になし

## 他コース学生が履修する際の注意事項

岡崎キャンパスの大学院係（r7139@orion.ac.jp）にお問い合わせください。

[ウインドウを閉じる](#)

## シラバス参照

講義名	生命科学リトリートⅡ		
講義開講時期	後期 2nd Half		
基準単位数	1		
代表曜日		代表時限	
コース等	12 その他/複数コース開設		
授業を担当する教員			
成績評価区分 Grading Scale	P (合格) , F (不合格) の2段階評価 Two-grade evaluation		
レベル Level	Level 2		
力量 Competence	学際性 Broad perspective、国際力 Global competence		

## 担当教員

## 氏名

◎ 村田 和義

上田 貴志

工樂 樹洋

渡邊 崇之

## 授業の概要

生命科学リトリートは、生命科学研究という共通基盤を持ちながら専門分野が異なる複数のコース（遺伝学、基礎生物学、生理科学、統合進化科学、および関連分野）の学生・教員が学術交流を行う授業科目で、担当学生が主体となって企画・運営を進め、合宿形式をとることで密度の高い議論が達成できる場となっている。受講生は、5年一貫制博士課程2年次までに行った研究成果や将来計画について発表する。

## 到達目標

研究者として必要な次のような技能を実践を通して身につけさせることを目標とする。すなわち、生命科学を見渡せる広い視野や柔軟な思考力、英語を用いたプレゼンテーション力、主体的にプログラムを企画・運営する能力である。

## 成績評価方法

プログラムへの積極的な参加をもって合格と判定する。

## 授業計画

学生は事前に自らの研究に関するポスター作成／発表について所属研究室において指導を受けて準備し、リトリートのプログラム（研究発表および議論、招待演者による講演など）に参加する。

## 実施場所

開催案内とともに通知する。参加申し込み〆切10月13日。

## 使用言語

英語

## 教科書・参考図書

特になし

## 他コース学生が履修する際の注意事項

岡崎キャンパスの大学院係（r7139@orion.ac.jp）にお問い合わせください。

[ウインドウを閉じる](#)

## シラバス参照

講義名	生命科学リトリートⅢ		
講義開講時期	後期 2nd Half		
基準単位数	1		
代表曜日		代表時限	
コース等	12 その他/複数コース開設		
授業を担当する教員			
成績評価区分 Grading Scale	P (合格) , F (不合格) の2段階評価 Two-grade evaluation		
レベル Level	Level 2		
力量 Competence	学際性 Broad perspective、国際力 Global competence		

## 担当教員

## 氏名

◎ 村田 和義

上田 貴志

工樂 樹洋

渡邊 崇之

## 授業の概要

生命科学リトリートは、生命科学研究という共通基盤を持ちながら専門分野が異なる複数のコース（遺伝学、基礎生物学、生理科学、統合進化科学、および関連分野）の学生・教員が学術交流を行う授業科目で、担当学生が主体となって企画・運営を進め、合宿形式をとることで密度の高い議論が達成できる場となっている。受講生は、5年一貫制博士課程3年次あるいは博士後期課程1年次までに行った研究成果や将来計画について発表する。

## 到達目標

研究者として必要な次のような技能を実践を通して身につけさせることを目標とする。すなわち、生命科学を見渡せる広い視野や柔軟な思考力、英語を用いたプレゼンテーション力、主体的にプログラムを企画・運営する能力である。

## 成績評価方法

プログラムへの積極的な参加をもって合格と判定する。

## 授業計画

学生は事前に自らの研究に関するポスター作成／発表について所属研究室において指導を受けて準備し、リトリートのプログラム（研究発表および議論、招待演者による講演など）に参加する。

## 実施場所

開催案内とともに通知する。参加申し込み〆切10月13日。

## 使用言語

英語

## 教科書・参考図書

特になし

## 他コース学生が履修する際の注意事項

岡崎キャンパスの大学院係（r7139@orion.ac.jp）にお問い合わせください。

[ウインドウを閉じる](#)

## シラバス参照

講義名	生命科学リトリートⅣ		
講義開講時期	後期 2nd Half		
基準単位数	1		
代表曜日		代表時限	
コース等	12 その他/複数コース開設		
授業を担当する教員			
成績評価区分 Grading Scale	P (合格) , F (不合格) の2段階評価 Two-grade evaluation		
レベル Level	Level 2		
力量 Competence	学際性 Broad perspective、国際力 Global competence		

## 担当教員

## 氏名

◎ 村田 和義

上田 貴志

工樂 樹洋

渡邊 崇之

## 授業の概要

生命科学リトリートは、生命科学研究という共通基盤を持ちながら専門分野が異なる複数のコース（遺伝学、基礎生物学、生理科学、統合進化科学、および関連分野）の学生・教員が学術交流を行う授業科目で、担当学生が主体となって企画・運営を進め、合宿形式をとることで密度の高い議論が達成できる場となっている。受講生は、5年一貫制博士課程4年次あるいは博士後期課程2年次までに行った研究成果や将来計画について発表する。

## 到達目標

研究者として必要な次のような技能を実践を通して身につけさせることを目標とする。すなわち、生命科学を見渡せる広い視野や柔軟な思考力、英語を用いたプレゼンテーション力、主体的にプログラムを企画・運営する能力である。

## 成績評価方法

プログラムへの積極的な参加をもって合格と判定する。

## 授業計画

学生は事前に自らの研究に関するポスター作成／発表について所属研究室において指導を受けて準備し、リトリートのプログラム（研究発表および議論、招待演者による講演など）に参加する。

## 実施場所

開催案内とともに通知する。参加申し込み〆切10月13日。

## 使用言語

英語

## 教科書・参考図書

特になし

## 他コース学生が履修する際の注意事項

岡崎キャンパスの大学院係（r7139@orion.ac.jp）にお問い合わせください。

[ウインドウを閉じる](#)

## シラバス参照

講義名	生命科学リトリートV		
講義開講時期	後期 2nd Half		
基準単位数	1		
代表曜日		代表時限	
コース等	12 その他/複数コース開設		
授業を担当する教員			
成績評価区分 Grading Scale	P (合格) , F (不合格) の2段階評価 Two-grade evaluation		
レベル Level	Level 2		
力量 Competence	学際性 Broad perspective、国際力 Global competence		

## 担当教員

## 氏名

◎ 村田 和義

上田 貴志

工樂 樹洋

渡邊 崇之

## 授業の概要

生命科学リトリートは、生命科学研究という共通基盤を持ちながら専門分野が異なる複数のコース（遺伝学、基礎生物学、生理科学、統合進化科学、および関連分野）の学生・教員が学術交流を行う授業科目で、担当学生が主体となって企画・運営を進め、合宿形式をとることで密度の高い議論が達成できる場となっている。受講生は、5年一貫制博士課程5年次あるいは博士後期課程3年次までに行った研究成果や将来計画について発表する。

## 到達目標

研究者として必要な次のような技能を実践を通して身につけさせることを目標とする。すなわち、生命科学を見渡せる広い視野や柔軟な思考力、英語を用いたプレゼンテーション力、主体的にプログラムを企画・運営する能力である。

## 成績評価方法

プログラムへの積極的な参加をもって合格と判定する。

## 授業計画

学生は事前に自らの研究に関するポスター作成／発表について所属研究室において指導を受けて準備し、リトリートのプログラム（研究発表および議論、招待演者による講演など）に参加する。

## 実施場所

開催案内とともに通知する。参加申し込み〆切10月13日。

## 使用言語

英語

## 教科書・参考図書

特になし

## 他コース学生が履修する際の注意事項

岡崎キャンパスの大学院係（r7139@orion.ac.jp）にお問い合わせください。

[ウインドウを閉じる](#)